

理事長挨拶

はじめに、総会の開催につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止、並びに会員皆様の安全を最優先とさせていただき、書面開催とすることにいたしました。御理解をお願い申し上げます。

昨年10月の令和元年東日本台風では、東日本を中心に大きな災害が発生し、県内でも甚大な被害に見舞われました。犠牲になられた皆様に、ご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様にはお見舞い申し上げます。

本協会では、佐久市や上田市等の被災地における土砂災害発生箇所、二次災害防止に向け、緊急点検を実施しました。発生直後の危険な状況下、会員の皆様には出動いただき、感謝申し上げます。

昨年度NPO法人となり、県からの委託を受け「赤牛先生」防災教育に、重点的に取り組んでまいりました。昨年7月30日の生坂村での開催を皮切りに飯山市、中川村などの防災教育講座は55回、参加者は1,834名となりました。その活動のさなか、台風第19号による大災害が発生。移動中や自宅での被災や1,700名を超える逃げ遅れなど甚大な人的被害の発生に、大きな衝撃を受けました。改めて「自らの命は、自らで守る」防災意識の重要性を感じました。引き続き、県と連携し、「赤牛先生」を事業の柱とし、犠牲者ゼロに向けた取組を一層推進してまいります、会員各位のご協力を重ねてお願い申し上げます。

砂防施設の維持活動や施設点検等についても、会員の皆様の協力により進めておりますが、新型コロナウイルス感染の影響を受け、5月の薬師沢歴史的砂防施設維持管理活動や6月の土砂災害防止月間に伴う危険箇所点検等は、中止とさせていただきました。

新型コロナウイルスの感染は、なかなか終息いたしません、災害は待ってくれません。このような厳しい環境のもと、皆様のお知恵をお借りしながら、台風第19号の経験を活かし、県民の安全・安心の確保に向け、取り組んでまいりたいと考えております。

会員の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いし、挨拶とさせていただきます。

令和2年6月10日

特定非営利活動法人 長野県砂防ボランティア協会

理事長 内山 壽長